

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	<p>学校名 いすみ市立太東小学校</p> <p>【サーフィン体験】 対象学年：第6学年 人数： 35名 サーフィン関係者 人数： 20名</p> <p>【ニュースポーツ体験】 対象学年：全校 人数：202名 大学関係講師 人数： 2名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 (体育、総合的な学習の時間)</p> <p>②行事名 (サーフィン体験 ニュースポーツ体験)</p> <p>③その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名 ()</p> <p>②その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる。 ・スポーツを通しての人間教育（フェアプレイ、公正、努力の大切さ等）を進める。 ・体育の時間を通して、オリンピック・パラリンピック種目を体験する。
5 取組内容	<p>【サーフィン体験】</p> <p>いすみ市サーフィン業組合、ライフセーバーチーム「Jプロ」、いすみ市体育協会サーフィン部の協力を得て実現した。</p> <p>秋の太東海水浴場でウェットスーツに着替えた6年生の子どもたちが、インストラクターから砂浜でアドバイスを聞いた後、5グループに分かれて入水。インストラクターは、子どもたち7名に3名ずつ付いて、安全に配慮しながらていねいに指導にあたってくれた。</p> <p>子どもたちは、1名ずつ交代で、サーフボード上で腹ばいに</p>



なって漕ぐ姿勢（パドリング）からライディングに挑戦した。

初挑戦にもかかわらず、次々にライディングを成功させる子どもたちに、海岸は、笑顔と歓声でいっぱいになった。

子どもたちからは、「楽しかった」「またやってみよう」という声が次々と挙がり、サーフィンの魅力を全身で味わうことができたすばらしい体験となった。

【ニュースポーツ体験】

（2月9日、13日実施）
スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史について学んだあと、専門の講師が開発したリズムダンスやゴール型のボール・ゲームを体験する。児童に親しみやすい曲に合わせてリズムカルに踊ったり、新しいスポーツと出会いその特性や魅力に触れたりすることで、生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てていく。



6 主な成果

オリンピック・パラリンピック教育を活用することで、地域の関係団体から賛同・協力を得ることができ、海を舞台にした体験活動を展開することができた。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

【サーフィン体験】

サーフィンの見学や、陸でボードを使った間接的な体験ではなく、6年生全員が海に入って直接サーフィンを体験できたこと。実施にあたって、インストラクター15名、ライフセーバー5名の協力を得られたことが大きな要因である。

【ニュースポーツ体験】

以前から親交があった大学関係の先生にオリンピック・パラリンピック教育について指導助言いただいたこと。

8 主な課題等	・協力していただく方々との連絡調整、費用精算等に多くの時間を費やすこと。
9 来年度以降の実施予定	・今後もオリンピック・パラリンピック教育推進校の指定が継続され、必要経費が継続されるのであれば、今年度と同様の活動が可能だと考える。